

# 平成26年度から5年間の「かしま観光戦略」

— 『かしま観光戦略プラン Ver.2』 がスタートします —

## どういった観光地を目指すのか？

祐徳稲荷神社を核として、有明海や多良岳山系の四季の自然と肥前浜宿、鹿島酒蔵ツーリズムなどの観光資源を結ぶことで、市内での回遊性を高め、長い時間滞在してもらえるような観光地を目指します。このため、市民、民間事業者、関係団体、観光協会、行政が役割を分担し、一体となって進めようとするものです。



年間 280 万人が訪れる「祐徳稲荷神社」



3月開催のPRイベント「鹿島酒蔵ツーリズム」

## かしま観光戦略プラン Ver.2 とは？

平成21年2月に策定した「かしま観光戦略プラン」に基づき、平成21年度から平成25年度までの5年間、戦略の内容毎に行政や団体、市民といったそれぞれの役割分担により施策を展開してきました。

平成26年度以降の取り組みについては、「かしま観光戦略プラン」を検証・実践してきた「かしま観光戦略推進連絡協議会」で検討をし、これまでの取り組みを活かしつつ、より着実に取り組みを進めていくための戦略・戦術と、数値目標を定めた「かしま観光戦略プラン Ver.2」を平成26年3月に策定しました。

今後5年間の鹿島市観光の目指すべき方向を示しています。

キーワード 「鹿島らしさ」

## 観光戦略のターゲット

(1)アクティブシニア

(2)主に女性（ファミリー層などを含む）

※ アクティブシニア…自分なりの価値観をもち、定年退職後にも、趣味やさまざまな活動に意欲的な、元気なシニア層を言います。

## PR・情報発信圏

【国内】

主に福岡・長崎などの近隣都市圏

※リピーターとなりうる滞在時間の長い個人客を狙います。

【国外】

主に中国・韓国を中心としたアジア圏

## 祐徳稲荷神社と連携し、着実に進めていく3つの戦略

鹿島酒蔵ツーリズムやニューツーリズム、干潟体験などといった鹿島ならではの素材を活かしながら、観光客の市内回遊の仕組みづくりを充実させます。

おもてなしのために必要となる、鹿島の魅力を学ぶ勉強会の開催やガイドの育成といった「人財育成」に努めます。

### 着地型観光の充実①

祐徳稲荷神社との連携

### 鹿島流おもてなし②

### 情報発信の強化③

【着地型観光の充実】を進める4つ戦術

- (1)鹿島酒蔵ツーリズムの推進
- (2)干潟体験など、各種体験メニューの充実
- (3)観光素材の発掘と磨き上げ
- (4)食文化や食材の充実・PRを行うとともに、鹿島らしいお土産の開発「鹿島ブランドの開発」に努めます。

効果的な広報媒体を使って、タイムリーで、より効果的な情報発信を行っていきます。

【鹿島流おもてなし】を進める2つの戦術

- (1)「おもてなしの心」「鹿島の魅力」についての勉強会開催などによる人財の育成
- (2)観光ガイドや各種体験活動の指導ができる人財の育成

【情報発信の強化】を進める2つの戦術

- (1)ニーズに合った広報媒体の充実
- (2)誘客・営業活動の強化